

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年11週 (3月2週 3/9~3/15)

2015年2月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、風しん、肺炎球菌感染症(高齢者)の予防接種、集団かぜの発生
病原体検出情報
定点医療機関コメント
インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶血性レンサ球菌感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(35)、細菌性赤痢(1)、コクシジオイデス症(1)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(2)、播種性クリプトコックス症(1)、破傷風(1)

2015年2月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1) 【3月18日警報解除】

すべての保健所(名古屋市は16保健所合計)で警報継続の指標(定点当たり報告数10)を下回ったことから、愛知県は3月18日にインフルエンザ警報を解除しましたが、依然として小規模な流行が続いています。

11週の定点当たり報告数は4.07、10週904人、11週794人(0.88倍)です。2014/2015シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3)及びB型(ビクトリア系統、山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】愛知県の「インフルエンザ警報」を解除します(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000081499.html>

2014/15シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infburri14_15.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

11週の定点当たり報告数は1.88、10週413人、11週342人(0.83倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

風しん

愛知県の2015年の風しんの報告数は1件増えて3月18日現在8件です。

麻しん・風しん予防接種(MR)の平成26年度の第2期対象者(平成20年4月2日~平成21年4月1日生まれ)は平成27年3月31日までが期限です。すみやかに接種しましょう。

【参考ページ】市内で風しんが発生しています(豊橋市)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/23235.htm>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

肺炎球菌感染症(高齢者)の予防接種について

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。平成27年3月31日が定期接種の期限となっているのは、平成26年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方と101歳以上の方です。詳しくは参考ページをご覧ください。

【参考ページ】肺炎球菌感染症(高齢者)(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
3月16日	瀬戸、清須、衣浦東部	集団かぜの発生について(2014-2015シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
3月17日	春日井、衣浦東部	
3月18日	一宮	

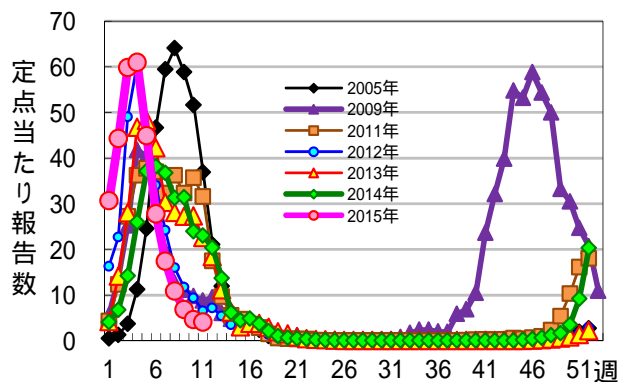


図1 インフルエンザ

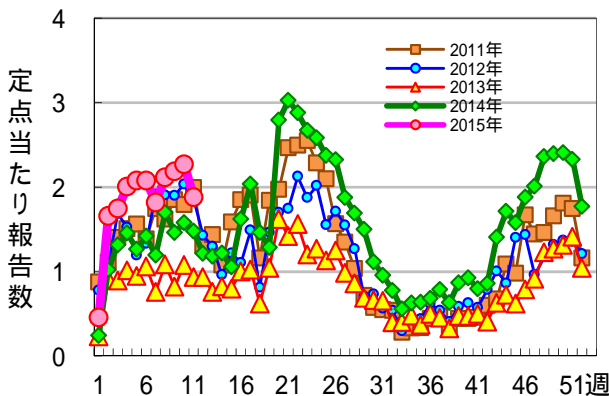


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

病原体検出情報 2014年疾患別ウイルス検出速報 (2015年3月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	290	58	48	13	32	44	18	195	35(44)
CV-A2	-	-	3	-	-	1	-	-	-
CV-A4	2	2	17	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	3	2	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	2	6	-	-	-	-	-	1(0)
CV-A16	-	34	1	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	1	-	-	-	-	3(0)
CV-B2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	1	-	-	(1)
E-6	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-11	5	1	-	-	-	15	-	-	-
E-25	1	-	-	-	-	-	-	-	1(0)
E-30	-	-	-	-	-	2	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	55	(1)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	56	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	52	1(0)
MuV	-	-	-	-	-	1	-	-	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	10(14)
HPIV-2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	2(0)
Reo-2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	98	-	-	-	-	-	1	-	-
SV	4	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
Ad-2	10	-	-	1	1	-	-	-	-
Ad-3	-	-	1	8	7	-	-	-	(1)
Ad-4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-5	2	2	-	-	-	1	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	14	-	-	-	-	-	1	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	-	-	-	-	-	1	-	-	-
陰性	158	14	15	1	21	21	16	32	17(26)

*インフルエンザは2013/2014シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV-71: エンテロウイルス71型、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB: B型インフルエンザウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、MeV: 麻疹ウイルス、MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス、SV: サボウイルス

病原体検出情報 2015年疾患別ウイルス検出速報 (2015年3月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	45	4	2	1	1	2	2	149	2(1)
CV-A6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	1	-	-	-	-	-	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	1	116	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	5	-
NV GII	11	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
検査中	22	2	1	-	1	1	-	12	2(0)
陰性	10	1	-	-	-	1	1	16	(1)

*インフルエンザは2014/2015シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB: B型インフルエンザウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、NV: ノロウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ 11例

A型 7例 B型 4例

【一宮市 あさのこどもクリニック】

感染性胃腸炎の中で集団感染らしきものあり

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザA型 4名 B型 4名

【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】

インフルエンザA型 1名

【稲沢市 野村小児科】

インフルエンザA型 2名 B型 1名

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザA 2例あり

胃腸炎多し

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザA型9名、B型8名でした。

A群溶連菌は6名でした。

ヒトメタニューモ感染症6名と続いています。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ11名(すべてA型)先週より増加
溶連菌感染症やや目立ちます。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

1歳8か月女 ロタウイルス

74歳女 病原大腸菌(O25)検出

B型インフルエンザ 3名

A型インフルエンザ 4名

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 3名

インフルエンザB型 1名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザA型 6名

インフルエンザB型 1名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザ0名、流行は終息したと思われ
ます。

その他溶連菌感染症、手足口病散発

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

溶連菌感染症16名と相変わらず多めです。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザA型 2名

インフルエンザB型 3名

【長久手市 医療法人水野内科】

救急外来では、インフルエンザA型が少し。

B型が増えています。

成人 A型 3名 B型 1名

小児 A型 3名 B型 2名

【春日井市 春日井市民病院】

A型インフルエンザ 3例

アデノ 溶連菌 胃腸炎 少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザ13名 小児3名、成人10名
です。B型2名、残りはA型です。

hMPV感染で入院あり

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザはA型1例、B型3例です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎がまだ多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザB型 12名

【春日井市 こどもゆめクリニック】

インフルエンザ5例中1例がB型でした。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザA型 1名

【南知多町 医療法人大岩医院】

3歳女 アデノウイルス

インフルエンザA型 1名

ロタウイルス 4名(全員ロタウイルスワクチン
未接種)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

感染症胃腸炎が多いです。(ウイルス性、
嘔吐がやや長びく症例が目立ちます。)

カンピロバクター腸炎 1名(5歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザB型1名、A型3名です。

【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

インフルエンザA(+) 3歳男 10歳男

StrepA(+) 9歳男

E.coli(O1) 6歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 23歳女

【豊田市 わかぞの東洋クリニック】

インフルエンザA型 2人

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザ陽性A型 2名

インフルエンザ陽性B型 1名

【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】

4歳男 病原大腸菌O1

インフルエンザA型 7名 B型 9名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザB型は5例でした。

【岡崎市 村山医院】

インフルエンザA型 5人 B型 1人

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザ 8例(全部A型)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザB型 1名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザ 合計16名

A型 9名 B型 7名

【岡崎市 栗屋医院】

インフルエンザA型 1名 B型 2名

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザA型 4名 B型 2名

【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

インフルエンザA型1名、B型1名、合計2名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

ヒトメタニューモウイルスが出ました。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

病原性大腸菌O18 7歳男

インフルエンザB型 3人

【豊川市 ささき小児科】

インフルエンザA型 1名

インフルエンザB型 1名

【豊川市 豊川市民病院】

インフルエンザB型 2名

ヒトメタニューモ 3月11日 3歳女

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年3月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年11週報告数			2015年総計(1～11週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	21	5	8	135	34	36
豊田市	2		1	11	3	2
豊橋市	5	1	3	24	3	13
岡崎市	3	3		12	6	
一宮				24	6	5
瀬戸	1			28	6	12
半田	1			6	2	
春日井				9	3	
豊川				5	2	1
津島				19	3	5
西尾				8	3	1
江南	1			13	4	2
新城				1	1	
知多				9	2	2
清須	1	1		6	3	2
衣浦東部				13	7	2
合計	35	10	12	323	88	83

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	春日井	6歳	女	3/-	3/10	3/13	国内

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

コクシジオイデス症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	55歳	女	アメリカ合衆国

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	63歳	男	腸管アメーバ症	経口	国内
2	豊田市	66歳	男	腸管アメーバ症	不明	インドネシア

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	江南	91歳	男	その他	国内	無

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	津島	49歳	男	無症候性キャリア	不明	不明

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	56歳	女	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	3歳	男	有	国内
2	岡崎市	79歳	男	不明	国内
3	豊川	74歳	女	無	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	一宮	2歳	男	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内

播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	免疫不全	国内

破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	56歳	男	不明	国内

2015年2月報

(2015年3月18日現在、診断週に基づく集計)

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2015年2月			2015年	2014年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	76 (14)	56 (8)	132 (22)	253 (59)	1,866 (531)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)
腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	132 (30)
腸チフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43) E型肝炎	1	0	1	1	1
A型肝炎	1	0	1	1	8
つつが虫病	0	0	0	0	2
デング熱	2	0	2	5	11
マラリア	0	0	0	0	1
レジオネラ症	3	1	4	13	61
五類 (22) アメーバ赤痢	2	1	3	10	68
ウイルス性肝炎	0	1	1	1	13
内訳 B型	0	1	1	1	12
内訳 その他	0	0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	2	2	4	9	19
急性脳炎	0	1	1	9	18
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	11
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	2	18
後天性免疫不全症候群	4	7	11	22	98
内訳 無症候性キャリア	2	5	7	15	65
内訳 AIDS	1	2	3	6	32
内訳 その他	1	0	1	1	1
ジアルジア症	0	0	0	0	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	3	16
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2
侵襲性肺炎球菌感染症	11	5	16	40	122
水痘(入院例に限る。)*	1	1	2	3	10
梅毒	0	2	2	8	113
内訳 無症候	0	1	1	4	50
内訳 早期顕症	0	0	0	3	57
内訳 晩期顕症	0	1	1	1	6
播種性クリプトコックス症*	0	0	0	2	2
破傷風	0	0	0	0	4
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
風しん	7	0	7	7	21
麻しん	0	0	0	0	46
総 計	113	78	191	392	2,680

* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名		2015年2月			2015年 累計		2014年 総計		
		愛知県 <small><名古屋を除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体	愛知県全体	合計	合計	
					合計				
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	男	25	30	55	128	233	900	1,591
		女	41	19	60	105		691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	1	14	15	32	95	169	643
		女	10	8	18	63		474	
	尖圭コンジローマ	男	6	10	16	29	47	220	347
		女	9	1	10	18		127	
	淋菌感染症	男	15	21	36	78	89	577	657
		女	3	1	4	11		80	
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		67	10	77	159	1,090		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		12	2	14	27	59		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	4		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0		

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年2月			2015年 累計		2014年 総計	
	愛知県 <small><名古屋を除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体	合計	合計
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	0	1	1

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年1月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。

